



平成 16 年 4 月 28 日
ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会

「ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004」市民参加などコンセプトの具体化・充実

市民参加の中心となる「ITS ワールド」の企画具体化、テクニカルツアー内容の具体化と充実、ITS 市民見学会の追加などにより、ITS 世界会議内容を一層充実させました。

「第 11 回 ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004」を主催する ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会(会長 豊田章一郎 ITS Japan 会長)は、平成 16 年 4 月 28 日(水) 15:00～16:30、世界会議開会式を予定している、愛知芸術文化センター(名古屋市東区東桜一丁目 13 番 2 号)にて、第 6 回日本組織委員会を開催し、市民参加の中心となる「ITS ワールド」の具体化に加え、市民向けの ITS 市民見学会や市民参加の盛り上げイベントの内容などを明らかにしました。

ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会は、“飛躍する移動 ITS for Livable Society”を開催テーマとし、従来からの会議の質の向上を図ると共に、「ITS 専門家中心の世界会議から脱皮し、幅広く市民にも参加を呼びかけ、ITS 認知度の向上を図り、世界会議に新しい潮流をつくる」との観点から、世界会議の歴史の中で初めて市民参加を謳い、下記の内容を設定してきました。

第 11 回 ITS 世界会議の開催までに、全国で各地の ITS 推進組織などと連携した ITS イベントを実施し、広く全国の市民に ITS に触れていただくとともに、ITS 世界会議の盛り上げを図る。

展示会・イベントを、市民が参加しやすい土(10 月 23 日)、日(10 月 24 日)も延長開催する。

展示会場には、楽しく分かりやすく ITS が体験できる「ITS ワールド」を設置する。

実際に地元で導入されている ITS を市民の方々に見てもらう ITS 市民見学会を設定する。

今回、市民が ITS を体験できる展示コーナー「ITS ワールド」を充実強化すると共に、実際に地元で導入されている ITS を市民に見てもらう見学会について、名古屋地域、豊田市などの施設を公開し、市民が自由にスタンプラリー方式で見学できるようにしました。さらに、全国の ITS 推進組織などとの連携による ITS 普及・盛り上げイベントについても、セミナーやシンポジウム、展示会などを開催することになりました。

第 6 回日本組織委員会で決議された内容は、以下のとおりです。 印が、市民参加企画です。

1. ITS ワールド

主催者企画による市民参加のコアイベントとして、市民の皆様が楽しく参加できる体験型の展示コーナーを設けます。

ポートメッセの第1展示館の1/4(約3,000㎡)を使う大規模な展示で、日本の各省庁、学界および民間が一致協力したITSへの取組を一堂に集めて、ITSの全体像が分るようにツアー形式で紹介をいたします。また、来場者が楽しみながら

ITSの効果や嬉しさを体感いただけるよう、大型ジオラマを使った映像での紹介や原寸大の街並みの中で実物を配置して説明するなど変化に富んだ演出を行います。



今回の第6回日本組織委員会では、交通社会をより良く変えて行くITSを実感できるように、ITSワールドの演出内容を一層具体化いたしました。

2. ITS ショーケース・テクニカルツアー

ITS世界会議参加者に、世界最先端のITSや生活の中に定着しているITSを、実際のフィールドで見てもらい、体験してもらうために、ITS ショーケース・テクニカルツアーを22コース用意しました。

それぞれのコースは、「安全」、「環境」、「利便」の区分に従って、特定のテーマで数箇所のショーケースをツアー形式で効率よく視察・体験できるようにしています。既に実運用されているものだけでなく、数年先に実用化が期待されるサービスのフィールド実験も含まれます。

「ITS世界会議愛知・名古屋2004」のITSショーケース・テクニカルツアーは、質・量ともに今までのITS世界会議を超えるものです。

これらのテクニカルツアーは、国(警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省)や地元自治体(愛知県、名古屋市、豊田市)、大学、民間企業など、多くの方々のご協力を得て構築しています。

(1) ITSスマートタウンショーケース・テクニカルツアー(会議登録者対象:全10コース)

名古屋地域および豊田市では、ITSを活用したまちづくり(スマートタウン)を進めてきました。これらの地域に導入された様々なITS事例、フィールド実験を、安全、環境、利便などのテーマに沿って8コースにまとめました。各コースともITSショーケースを視察・体験することができます。また、来年から始まる愛・地球博、中部国際空港の現地を訪れて、そこで期待されるITSを展望するコース2つも用意しました。

(2) 国内各地のテクニカルツアー(会議登録者対象、全10コース)

日本各地で導入が開始されているITSを紹介するため、全国で10コースを用意しました。ITS関連の研究施設や、観光や環境保護に役立つITSなどを視察・体験することができます。

- 2 -

(3) 海外のテクニカルツアー(会議登録者対象:全2コース)

「ITS 世界会議愛知・名古屋 2004」では、アジア・太平洋地域を代表した関係地域において、連携を強めるため、アジア・太平洋地域にもテクニカルツアーを用意しました。欧州・米国等遠くからの参加者が、往路・復路に立ち寄って参加できるように企画していますが、日本から出かけて参加しても、十分満足できるコースとなっています。

3. ITS市民見学会（一般市民対象：名古屋地域、豊田市）

一般市民も参加できるショーケース・テクニカルツアーとして、名古屋地域および豊田市でショーケースの市民見学会を実施します。会期中、市民の方々が、ショーケース見学先メニューの中から、興味に沿って自由に選んで見学することができます。楽しみながら見学ができるよう、スタンプラリーも設定します。また、参加者の意見をアンケートとして提出してもらい、今後のITSの普及に役立てていきます。

4. 山本寛斎氏によるアトラクション演出

世界的に著名なイベントプロデューサー・ファッションデザイナーである山本寛斎氏により、10月18日に開会式でのアトラクションおよび オアシス21での公開オープニングイベントが企画されています

5. 応募論文のセッション、プレミナリープログラムについて

「安全・環境・利便」を今回の世界会議の共通コンセプトとして応募された論文の発表が行われます。

今回の世界会議には、世界から800件以上の論文の応募があり今回の世界会議への関心の高さがうかがえます。

今回の世界会議では、従来の世界会議の発表方式に加え、質問者と対話形式で直接やり取りするインタラクティブセッション（いわゆるポスターセッション）の発表方式も採用されます。

発表論文や、各プログラムの内容、世界会議の具体的な概要などは、6月中旬頃発表予定のプレミナリープログラムに掲載されます。

6. 全国への ITS 普及のための連携イベント

今回のITS世界会議のテーマ“ITS for Livable Society”の実現には、地元の愛知県のみならず、広く全国の市民の皆様にも身近で実用化されているITSや、種々の新しい取組を知っていただくことが大切であるとの観点から、ITS世界会議の開催までに、北は北海道から南は沖縄まで全国の地域 ITS 推進組織などと連携し、各地でITSに関するイベントを開催し、市民参加の拡大を積極的に行います。

上記の世界会議に関する連絡先：

・ITS世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会名古屋事務所
担当：西野

TEL:052-954-8527 FAX:052-954-8529

・ITS世界会議 愛知・名古屋 2004 日本組織委員会東京事務所
担当：下之園

TEL:03-3519-2171 FAX:03-3592-0091